# はじめ

私たちの班は、Devilティーレックスという、主⼈公の⾼橋が、ティラノサウルス がうろついている暗い3D マップから脱出を試みるという、探索型ホラーゲームを作りました 今皆様のお⼿元にある発表資料には、私たちが11⽉ごろに作成した、 先ほどのホラーゲームの説明が記載されています しかし、この発表資料作成後に、私たちは趣を変え、このゲームを⼤改造し ホラー要素以外にも、様々な⾯⽩さを導⼊した、新しいゲーム作品へと進化させました 30分から3時間以上に六倍以上伸び、登場キャラがおおよそ4倍に!!濃厚なストーリーを主⼈公とともにたどることができます ですので、今回発表するゲーム作品は、 発表資料に記載されたゲームを⼤きく改造させたものとなっています

スタート画⾯系

それでは、●改造後のゲームの説明にうつります。 まずゲームを⽴ち上げると● このような、ぐっとナチュラルパーソンマークが出る映像と、 ティラノが叫ぶ映像が流れだします● しかもこの際に、映像が⻑いと感じたら、 スキップしてすぐスタート画⾯に移ることもできます そして、スタート画⾯では、●この⿊いティラノサウルスがこのように 動くようになっております そして、改造前は、この画⾯内のスタートという欄をクリックすれば、 先ほどの脱出３Dホラーゲームが遊べるように作られていましたが、 改造後は、スタートボタンを押すと、このように●3つのゲーム開始ボタンが表⽰され、 この画⾯から3種類のゲームが遊べるようになっています この3つのゲームについては、後ほど説明していきますが このうち、上から数えて３番

⽬にあるゲームは私が制作を⼿掛けたものになるので、 後ほど私が説明します そして、なんとこのゲームでは● 初⼼者でも、ゲームを楽しみやすくさせるような、説明付きの チュートリアルをプレイすることができます このチュートリアルでは、 ゲーム内でどのようにキーボード操作をすればいいか知ることができ、 押したキーに合わせて、今流れてる映像のように、 アイテム欄が表⽰されたり、画像が変化したり、 ⽮印が動いたり、ティラノサウルスが説明して教えてくれたりと 私たちがまごころをこめた、とても分かりやすいチュートリアルとなっております さらには統計も取っています。実際にチュートリアルを⾒てもらい、 その内わかりやすいと回答した⼈は、 わかりにくいと回答した⼈の、2.5倍以上の⼈数になり、圧倒的好評という結果にもなりました しかし、チュートリアルがわかりやすくても、ゲームの難易度についていけない⼈も いるでしょう、なのでなんとなんと● 設定画⾯から、ゲーム難易度を調整できるようにもしました さらにわかりやすくなるように●設定画⾯でも説明⽂が出るようになっており、 さらには説明画⾯内のティラノの⽬が光るようなこだわりもあります これにより、ゲームが苦⼿な初⼼者から上級者まで、得意不得意関係なく ゲームを楽しむことができるようになっております そして私は、ゲーム内のゲームオーバー画⾯の制作なども⼿掛けたので、 その部分の説明も先にしていきます しかし念のため、●警告です この先とても恐ろしい映像が流れます。⼼肺が弱い⽅や怖い演出が苦⼿な⽅は、 ⽬と⽿をふさいでください。● では流します いやー怖いですね このようにゲームをクリアできなかった場合⾝の⽑もよだつような映像が流れます。 しかし、ゲームオーバー時のアピールポイントはこれだけではありません なんと、●ゲームオーバーの仕⽅によっては、いきなりノベルゲームが始まり クリアできなかった主⼈公がどのようになってしまったのか︖ がわかるような機能も導⼊されています このように、ただ驚かすだけではなく、ゲームオーバー後の物語を ノベルゲーム形式で楽しめる⾯⽩さも備わっています さらにゲームオーバー時だけではなく、●ゲームクリア時にも映像が流れるようにもなっており、 クリア時はエンディングロールが流れるようになっています、 実際にその映像をお⾒せしましょう いやーこれはすごいですねー このように迫⼒ある映像が流れるようになっています それでは、●私が制作を⼿掛けた、上から３番⽬にあるスタートボタンから遊べる、 佐々⽊偏というゲームの説明をしようと思います ちなみにこのゲームとは別に、上から⼆番⽬の スタートボタンを押すと遊べる、⾼橋の過去というゲーム内では、● 主⼈公のお友達、佐々⽊という⼈物が⾏⽅不明になるシーンがあります この今から説明する３番⽬のゲームは、その⾏⽅不明となった 佐々⽊がその後どうなってしまったのかを再現したホラーゲームになっています それではこのゲームの解説に移ります● このゲームは、ファイブナイトアットフレディーズのようなホラーゲームになっています そして、ゲーム内では、カメラを⾒たり、シェルターを閉じたり、上から襲ってくる化け物の動きを確認したりと 様々なことができるようになっています、そして中にはなんと●システムボタンを 押さなければいけない要素や、時間内に作業を終わらせなければいけないというような要素もあり 化け物に襲われないように計算しながら、作業を進めていかなければいけないという、 頭と、素早い操作が求められる⾯⽩さが詰まったゲーム作品となっております。● それでは次に私が主に制作を⼿掛けたスタートボタン上から１番⽬にあるゲーム、

デーモン編

## メインゲーム

でびるティーレックスでーもん編の説明をしていこうと思います。 このゲームは、●主⼈公の⾼橋が、とある学校から脱出を試みる、 3Dのホラー脱出ゲームとなっています このゲームは、●主⼈公をWASDで操作することができ ゲームプレイ中時々、主⼈公の⾼橋の発⾔が プレイ画⾯左下に表⽰されるようにもなっています そしてさらに、移動すると同時に、●操作キャラクターの3Dモデルが動くようになっています なんと、歩く⽅向に応じて、操作キャラクターのモーションが変わるようになっており 前、右、左、進⾏⽅向に応じて歩き⽅が変化するという細かいこだわりがあります それだけではなく、●ゲームプレイ中、 画⾯左上に⽬標というものが表⽰されるようになっています これは、今⾃分が何をすればいいのか︖が書かれており、これにより ゲーム進⾏につまずく回数を減らせるようにもなっています これだけでは、ゲームにつまずく要素がない簡単な脱出ゲームになってしまうでしょう なので、なんと、●アイテムがなきゃ通れない通路を作りました さらに、ただアイテムを拾うだけではなく、 ●アイテム同⼠を合成して新しいアイテムも作れるようにしました ちなみにアイテム欄を開くと、このように、●ゲットしたアイテムのアイコンと、 アイテムの状態を説明する⽂が映るようになっています そして中には、●このゲットした際に⾒れる説明⽂をもとに壁のレバーを引いたり、 チェストを空けたりするような謎解き要素もあり、 それだけではなく、●マップ内にあるミにゲームをプレイして、新たなアイテムをゲットし、 そのアイテムの情報を頼りにパスワードの数値を揃えるような、謎解き要素も備わっています しかしこれだけでは、ホラー要素がない普通の脱出ゲームになってしまうでしょう なので●ティラノサウルスを なんと、マップ内に、怖いBGMと同時に叫びながらプレイヤーを襲いに来るティラノサウルス がうろつくようにしました なんとティラノサウルスにもアニメーションがついており、 おそわれている恐怖感を味わいやすくする⼯夫が組み込まれてあります しかし、ただ決まった動作しかしないティラノサウルですだと 少しリアリティーが薄れる⾯もあるでしょう、なので ●ティラノサウルスにＡＩ機能を搭載し、時々 ⾃⼒で考えて⾏動するようにしました これにより、実際にティラノサウルスが 頭を使って追いかけてきているかのような、リアリティーある⾯⽩さもあります 先程、スタート画⾯でのべた敵の数を設定する機能でティラノを増やすことができますが 数多くのティラノが追いかけてくるようになると、 巻いたり、隠れたりすることが困難にもなってくるでしょう なのでなんと、●マップ内のところどころにロッカーを設置して、 中に隠れられるようにしました 近くで⼊るところを⾒られるとそのまま襲われますが ロッカー隠れながら探索することにより 時期を⾒計らって動く⾯⽩さ、隠れながらティラノをやり過ごす⾯⽩さがより⼤きくなるようにしていますミニゲーム

さらにこれだけではなく、なんとこのゲームでは、 ●カードゲームをしなければいけない場⾯も登場しますこのカードゲームではカードとティラノとの対話を通して様々なストーリー⼩話を知ることができます カードはただのトランプカードでなく⾎痕で作ったトランプカードで 操作するごとにティラノが何かをしゃべってくれます 背景も含めティラノとの対話に没⼊できるでしょう ゲームクリアすると、なんと光ります!!256 の三乗⾊に光ります!!

# 屋敷編

●それでは最後に私が制作を⼿掛けた、上から2番⽬のスタートボタンから遊べる、⾼橋の過去編というゲームの説明をしていこうと思います。先ほど、ティラノサウルスのいる屋敷から脱出するゲームを紹介したと思うのですが、⾼橋の過去編というこのゲームは⾼橋が●その屋敷に⼊るまでの背景やきっかけがわかる⻘ ⻤のようなフリーホラーゲームを３Ｄに進化させたようなゲームです。そして屋敷の中では、Ｑキーを押して●マップ内の壁や気になる個所を調べることができ、調べる際はＱキーで調べると、表⽰が映るようにもしました。ちなみに調べると、調べたものに対する主⼈公⾼橋の考えやセリフが、 ●⼀⽂字ずつ表⽰され、同時に⾼橋のイラストが右側に表⽰されます。そして、このようにセリフが表⽰されてる間は Ｑキーを押すことで、今流れている映像のように、続きの⽂に移動することができます。さらに、⽂章を読むのが⾯倒と感じたら、●好きなタイミングで⽂章をスキップできるよウニもなっており、ゲーム内の⽂章を、⾃分のペースで読めるようにもなっていますしかし、マップ内の気になる個所を調べられるだけでは、少し物⾜りない部分があるでしょう、なので ●壁を調べたときに、⾼橋が述べる考えやセリフを参考にして、頭を使う謎解き要素も取り⼊れました。さらにボタンの前に⽴つと、Ｑキーでボタンを押す、と表⽰が映るようにもなっており操作がわかりやすくなっています。さらにそれだけではなく●マップ内のブロック数などを参考に、４桁の数値を割り出して、ロックを解除しなければいけないような謎解きもあります。パスワードが間違っていると、違いますと左の映像のように表⽰され、正しいと、ドアのロックが解除されます。 さらに頭を使う⾯⽩さだけではなく●ゲーム中は様々なマップが登場するようにして、屋敷内を冒険する楽しさが味わえるようにもしましたしかし、このようにマップが⼤きくても、登場⼈物が主⼈公の⾼橋だけでは、少し物⾜りない部分もあるでしょう、なのでなんと。●屋敷内で、様々なキャラクターが⾼橋の前に⽴ちはだかるようにしました、登場するキャラクターが喋る際も、⾼橋と同様な形式でセリフが表⽰されるようになっており、出会いと会話が多く含まれた、ストーリー豊富な⾯⽩さもあります。さらに会話中、●３Dキャラクターが動くようになっています。体をひねらせたり、⼿を動かしたり途中で別の場所に移動したりと、それぞれのキャラクターが個性的な動きをするようになっています。さらに表⽰される、会話の⽂やセリフに応じて、●ＢＧＭが変わるようにもしました、これにより、キャラクターや会話の雰囲気が、伝わりやすくなるような⼯夫も備わっております。そして会話中だけではなく●マップ探索中にも別のBGMが流れるようになっており、BGM以外にも、歩いた際の⾜⾳や、ドアの⾳、ボタンを押す⾳、キャラクター同⼠の衝突⾳や、アイテムゲット時の⾳など、短時間では説明しきれないほど効果⾳に多くのこだわりがあり、様々な場⾯でなるようになってます。しかし、⾳だけでは、ハラハラするような緊張感ある⾯⽩さは味わえないでしょう。なのでなんと●勝ち負けが存在する、バトルゲームをする場⾯も加えました。さらにこのバトルゲームはふたつのゲームを合体させたもので●⾳楽ゲームの、リズミカルにキーを押さなければいけない⾯⽩さと、タイピングゲーム、の様々なキーを押さなければいけない難しさのふたつを兼ね備えた、リズムタイピングゲームというものになっています。このゲームについて少し説明します⼀般的な⾳楽ゲームと呼ばれるものは、●⾳楽に合わせて指定の場所を押すゲーム⽅式ですが、このゲームは、英語のスペル⼊⼒に沿ったキーを押さなければならないゲーム⽅式になっています。このように、押すべきキーの箇所を、英語のスペル⼊⼒に沿ったキーに変えることで、●次、どのキーを押せばいいかが予測しにくくなる⾯⽩さがあり、さらに⾳楽を楽しみつつ、タイピング能⼒向上を図れる利点も兼ね備えた、バトルゲームになっています。さらに、屋敷内には●様々なバトル相⼿も登場し、相⼿によって、スペルの⻑さ、難易度が変わるようにもなっています。また、バトルがあるだけではなく、このゲームでは屋敷内に落ちているアイテムを拾うこともできるようになっており●拾ったアイテムを使って新マップに⾏ったり、新アイテムをゲットしたり、⾃動ドアを開けたりと、様々なことができるようになっていますアイテムをゲットすると、●アイテムをゲットしましたと表⽰が映るようになっており さらに⼿持ちのアイテムが、アイテム欄を開いてわかるようにもなっていますそして中にはなんと、アイテムを活⽤して●エレベーターに乗る場⾯もでてきます、そして、エレベーターに乗ると、●このような画⾯が映り、⾏きたい階を選択して階移動することができます。そして選択後は、●映像のように、床が上下に移動するようになっており、同時に⾳もなります エレベーター内の壁にある、１Ｆや２Ｆという数字から、いま何階あたりまでエレベーターが移動したのかが、現実のエレベーターのようにわかりますそして●⽬的の階に到着すると扉が⾳を鳴らすと同時に開き、そしてエレベーターを降りて後ろを振り向くとエレベーターのドアが⾳と同時に閉まるようになっており、エレベーター内で鳴る⾳はすべて●私のビートボックスの⾳になっています。そしてなんと、ゲーム内には、アクションゲームを好むような⼈でも楽しめるようなアスレチック要素も備わっています●上下に動くブロックに乗ってジャンプしたり、動く床から落ちないように移動したり、動く床や綱の上からジャンプしたり、綱渡りをしたりと、様々なアクション要素が登場します。しかし、このようにタイミングを狙ったり、落ちないように慎重に捜査するアクション要素だけでは、物⾜りないと感じる⼈もいるかもしれません。なので、なんと、● マリオカートのようなレーシングゲームをする場⾯も取り⼊れました、それではこのレーシングゲームの説明をしていきます。●ゲームを開始すると、最初に操作⽅法と、レースが⾏われるきっかけが記された⽂がそれぞれ表⽰されます。その後レースが始まると、●三,⼆,⼀とカウントダウンが始まり、カウントが0になると同時にスタートと表⽰され、レースが始まります。またカウントダウンと同時に効果⾳が鳴り、●⽬の前の信号のような３⾊のライトが順番に光るようにもなっています、そしてスタートするとBGMが流れ出します。ちなみにスタート後、●他の⾞とぶつかったり ゴールゲートをくぐったりした際にも⾳が鳴るようになっていますそして⾞にはなんと加速度を付けるという⾞らしく動作する⼯夫も備わっております●さらにコース内には、マリオカートのように、分かれ道や、ショートかっと、邪魔する動く壁やジャンプ台など、様々なアクション要素が登場します。さらにレース中、他の⾞の位置が●画⾯左下に映り、画⾯右側には、ほかの⾞が何週は知ったのか、どのぐらいの距離は知ったのかという情報が細かく映るようになっています。このように、相⼿の⾞情報を確認しながら⾛れる⾯⽩さもあります。さらに、レース中は、●コースアウトしたら、流れている映像のように ⼀番近くの道路に復活するようになっています。それだけではなく、

●⾃分以外の⾞は、分かれ道をランダムで選び、時々ランダムで速度を変えるようになっています。これにより、レースの結果が予測できないという⾯⽩さがあります。 しかし、⾞の種類が⼀種類だけではつまらないでしょう、なのでなんとなんと●様々な⾃動⾞が登場するようにしました、 洗⾞や、ティラノや⼈間などの様々な形をした⾞が⾛るようになっており、中には、実際に形を変えたり、⾜が動いたりするような⾞も登場します。このように、この⾼橋の過去偏というゲームは、様々なジャンルのゲームが楽しめる作品となっております技術

それでは最後に軽く技術説明をします●このゲームは、AVIUTLやBRENDER、アフターエフェクト、ペイントソフトといった数多くのソフトを利⽤して作られていますそして、なんと、BGMから、いらすと、３Dモデルやマップまで、 ほとんどすべて⾃作の素材を使って作られてあります、●さらにBGMに関しては、プロの

⾳楽家も使う総合10万円以上の シンセサイザーの⾳で作られてます。 そして、このゲーム内では、敵の動作プログラムや、エンディングロールの動画で ゲーム内の機能としてのAIも、制作の⼿助けや制作物⽣成としてのAIも⼤いに活⽤しています、 そして●様々なこだわりが詰まっていることもあり、ゲームのDFDも このように、とても複雑なものとなっております ●そして、スタート画⾯にある、動くアニメーションは、アフターエフェクトというソフトで 画像をうまくつなぎ合わせることで、ティラノ独特の動きを再現しましたこれで、発表を終わります